

寒ざらしそば 試食会開催!

山形麺類食堂協同組合(山川純司理事長、組合員数:130名)は、4月16日(火)山形市の鈴木製粉所製粉工場・石臼館で試食会を開催、参加者約70人が、江戸時代の殿様に献上されたという逸品を味わった。

厳寒の沢水に浸した玄そばを使った「山めん寒ざらしそば」の試食会は15年ほど前から毎年実施。今冬は戸沢村産の「最上早生(もがみわせ)」約3トンを山形市上宝沢の沢水に浸した後、寒風にさらす作業を行った。山川理事長は「甘みがあり、すっきりした味わいに仕上がった」と説明した。この日は宝沢地区の住民や観光関係者らが試食。細麺なのにコシが強く、美味しいと何杯もお代りする人の姿が見かけられた。

山めん寒ざらしそばは、同組合加盟の市内約40店舗で味わえるが、限定2万食のため、この日から2週間ほどで売り切れてしまう。次は、「夏の新そば」が花笠まつりからお盆にかけて楽しめるとのこと。お問い合わせは、山形麺類食堂協同組合へ。TEL023(632)5246



山形県工業会視察研修会

山形県工業会(会長:安房 毅、会員137名)は3月12日(火)、13日(水)の両日、福島県いわき市と米沢市において先進的事業活動を実施している企業等の視察および研修会を行った。日産自動車株式会社いわき工場、株式会社江名製作所(以上、いわき市)、産学官連携有機エレクトロニクス事業化推進センター(米沢市)の3か所を視察したほか、福島県機械電子工業会との研修会を行った。

日産自動車株式会社いわき工場では、低燃費・軽量・コンパクトの最新鋭VQエンジンの生産現場の見学と、いわゆる「日産生産方式」について「お客様の注文の段階から生産」に至るまでの一連の流れについて説明を受けた。

株式会社江名製作所では、会社の運営方針や独自の社員教育について説明を受けたほか、実際に船尾装置・船舶連結装置・漁労機械の製造等を行っている作業現場を視察した。

産学官連携有機エレクトロニクス事業化推進センターでは、有機EL自体や有機ELパネル製造関連装置の説明を受けた後、センター内の研究現場を見学した。

福島県機械電子工業会(会長:立石 吉識、会員数57社)との研修会では、主な事業内容や東日本大震災による被害状況、復興に向けた活動内容等について話があった。震災により多くの企業が厳しい経営状況におかれていたものの、震災後に半減していた会員が中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業をきっかけに20社が加入したことが報告された。

